



崎原真弓さん

命の尊さを伝える 平和集会開催

具志頭中学校の読み聞かせボランティア主催による読書月間の取り組みとして「うちの先祖たちの歴史から学ぶうちなりの肝心(ちひなぐんこ)く命どう宝く」をテーマにした平和集会在6月25日、具志頭中学校で開催され、字具志頭の崎原真弓さんが平和について講演を行いました。崎原さんは、オバーが語るうちなりの歴史と題した1人芝居を披露し戦争の悲惨さや命の大切さを生徒たちに訴えました。また、崎原さんは「現在、新聞やテレビで命を大切にしないニュースが続いている。だからこそ命の尊さを生徒たちに伝えていきたい」と力強く話してくれました。

年賀寄付金配分助成事業による車両の出発式

地域のまちづくりや社会教育活動に取り組む特定非営利活動法人(NPO法人)カタンニュー・クラブが郵便事業会社から年賀寄付金配分助成事業による交付決定をうけました。当事業は、郵便事業会社が社会福祉の増進を目的とする事業を支援するために、毎年発行される年賀はがきと切手に不可された寄付金を希望団体に配分しています。カタンニュークラブへの配分は62万円で福祉事業所の作品を販売する軽自動車購入費にあてました。それを受けて6月24日、幸福の駅において購入車両のお披露目も兼ねて車両出発式が行われました。

上原文一理事長は、「『幸福の駅』を人の集まる場とするためにも車両を有効に使っていきたい」と話しました。



家庭菜園 日々の成長が大きな楽しみ

3年前から家庭菜園をはじめた中村正一さん(字具志頭)の畑では、今年大きなゴーヤーが収穫されました。一番大きいもので長さ48センチ、胴回り25.5センチ重さ846グラムはあったと話します。10日1回は液肥を入れたり鯉節やにんじんの粕などを肥料として加えたりと試行錯誤しながら育てました。中村さんは、「毎朝、ゴーヤーの成長過程を見るのが菜園活動の大きな楽しみ。できたゴーヤーを友人に譲って食べてもらうこともうれしいです」と話しました。また、「菜園活動には、体を動かしたりするので健康にもいいし無農薬なので安心しておいしい食事ができたりと楽しみが広がっていきます」と笑顔で話しました。



ゴーヤーの出来栄えに大満足の中村正一さん

男女共同参画から始める清らまちづくり



「共につくる社会へく男女共同参画から始める清らまちづくり」をテーマにしたジェンダーを考える教室が6月27日、具志頭改善センターで開催され約50名が参加しました。女性史研究者である大城道子さんを講師とし招いた教室では、「ジェンダー(社会的な性別のあり方)に係る問題点から男女共同参画社会について考える」ことや「男女共同参画とはどのような社会なのか」など男女共同参画社会について根本から考えさせる内容となっていました。



南部商業高校に通う知念さん、石垣さんがシスアドに合格



知念篤史さん(写真右)と石垣信樹さん

国家試験の初級システムアドミニストラータの春期試験で、南部商業高校(山入端恵子校長)の生徒、町内に在住の知念篤史さん(上田原)と石垣信樹さん(大倉ハイツ)が合格しました。当試験の県内高校生の合格率は13.3%と難関の試験でしたが2人は、課外講座と自宅での勉強を通して合格することができました。石垣さんは、試験日2週間前は、徹夜で猛勉強。1日の睡眠時間は、3時間だったと話します。2人の将来の目標について聞いてみると、石垣さんは「マイクロソフト社をあとと言わせるようなシステムエンジニアになりたい」と話します。一方知念さんは、「システムエンジニアなども含めている方向で将来について考えていきたい」と2人とも前向きな姿勢で話しました。

沖縄タイムスプレゼンツ ワラビーサッカースクール が開催

3歳から10歳までの少年少女を対象にした沖縄タイムスプレゼンツワラビーサッカースクールが7月5日、東風平サッカー場で開催され約130人が集まりました。

F C琉球の選手と身近に触れ合うことでスポーツの楽しさや嬉しさ、悔しさなどを体感させることで感情的な文化を育むことを目的としています。

サッカー元日本代表監督のトルシエ総監督も参加したスクールでは、リフティング、パス、ドリブル、シュートの4つのコースで行われ参加した子どもたちは、F C琉球の選手から直接アドバイスを受けていました。



母と子の楽しい運動会

「ここの一番、全員勝利の運動会」をテーマとした第18回母と子の楽しい運動会(主催:沖縄県母子寡婦福祉連合会、八重瀬町母子寡婦福祉会)が6月29日、東風平運動公園体育館で開催されました。母子家庭健全育成事業として、県内の母子家庭等の親子、寡婦が一堂に参集し、楽しいレクリエーションで親子のふれあいや地域の福祉関係機関との親睦を図ることを目的としています。種目には、かけっこや綱引き玉入れなどが行われ参加した子どもたちは、元気よく運動会を楽しんでいました。



破名城の郷ビーチ クリンアップ

NPO法人沖縄O.C.E.A.Nの展開する「マイビーチプロジェクト」の一環として破名城の郷ビーチの清掃作業が6月28日、破名城の郷ビーチで行われシティグループ、株式会社DFS、嘉手納海軍などのボランティア団体が参加しました。

「マイビーチプロジェクト」は今年3月にも同ビーチで行われた清掃作業に引き続きの企画です。清掃には約200名の家族ずれや外国人の方々の姿がみられ約2時間あまりをかけてビーチといったゴミを集めました。また、清掃終了後には、参加者の親睦を図るためにバーベキューも行われました。

